

決算説明

2022年3月期



2022年5月13日

 株式会社田中化学研究所

(注意事項)

本資料に掲載されている田中化学研究所の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与える重要な要因としては、田中化学研究所の事業領域をとりまく経済情勢、市場における田中化学研究所の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において田中化学研究所が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

目次

1. 2022年3月期 決算ハイライト
2. 2022年3月期 決算トピックス
3. 製品別販売数量 前事業年度との差異要因
4. 製品別販売数量Q毎推移
5. 主原料国際価格推移（円/kgベース）
6. Northvolt（ノースボルト）社に対する
前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結
7. 営業利益 前事業年度との差異要因
8. 営業外収支および特別損益
9. 比較貸借対照表
10. キャッシュ・フロー計算書
11. 今後の正極材料市場動向
12. 技術開発の方向性
13. 中期ビジョン
14. 2023年3月期 業績予想
15. 製品別販売数量予想

付属資料

16. 業績を見る注意点
17. 主原料国際価格推移
（\$/LBベース）

1. 2022年3月期 決算ハイライト

金額：百万円	2021/3期	2022/3期	増減	増減率
売上高	22,754	40,531	+17,777	+78.1%
営業利益	△ 20	825	+845	-
経常利益	△ 30	769	+799	-
当期純利益	△ 414	731	+1,146	-
EPS (円)	△ 12.74	22.50	+35.24	-
設備投資額	5,473	2,081	△ 3,392	△ 62.0%
減価償却費	1,325	1,703	+377	+28.4%
期末従業員数 (人)	307	337	+30	+9.8%

2. 2022年3月期 決算トピックス

● 販売数量は前事業年度比 +40.0%

- ・ リチウムイオン電池向け車載用途 + 80.7%
市場伸長にともない増加基調、期末にかけて一部顧客の需要急減
- ・ ニッケル水素電池向け車載用途 + 22.4 %
足もと一定の需要が回復、新規顧客への量産開始

● 主原料相場

- ・ ニッケル相場は前期末より徐々に上昇し、年初の約2倍強
- ・ コバルト相場は当期初は一旦下落するも上昇・急騰し、年初の約2倍

● コスト上昇

- ・ 中期的な増産に向けた
新規設備稼働にともなう減価償却費の増加
組織人員体制強化による労務費の増加

● 設備投資

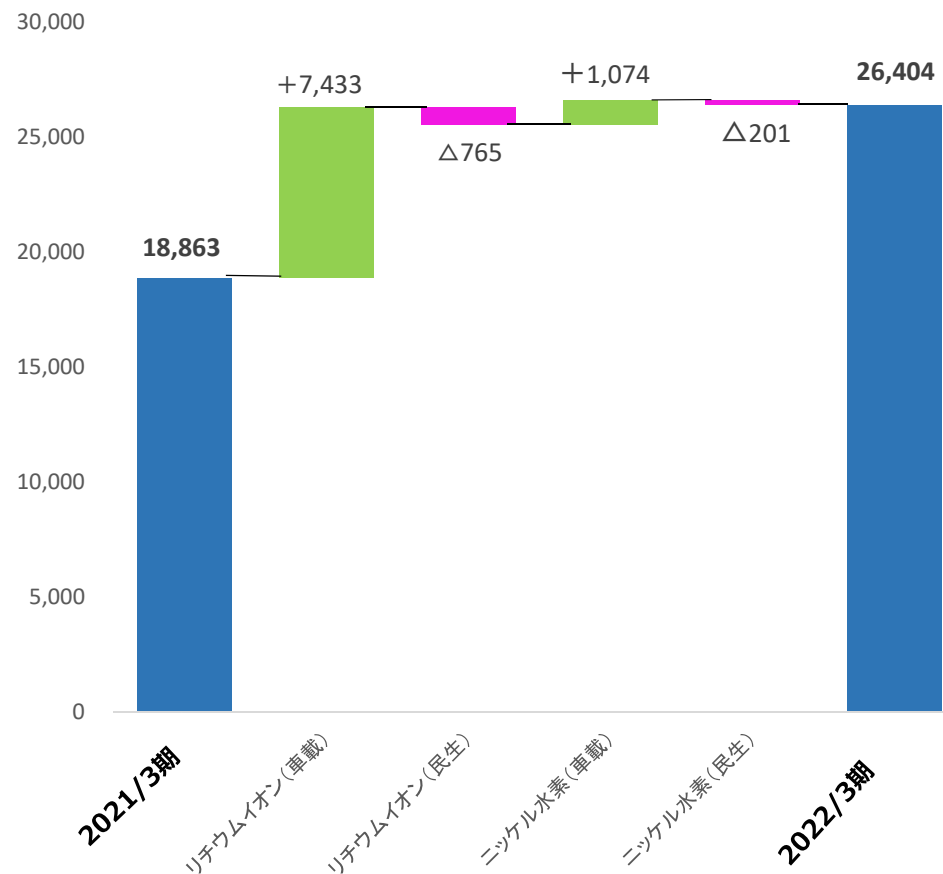
- ・ 設備投資金額計 2,081百万円

● Northvolt (ノースボルト) 社に対する前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約

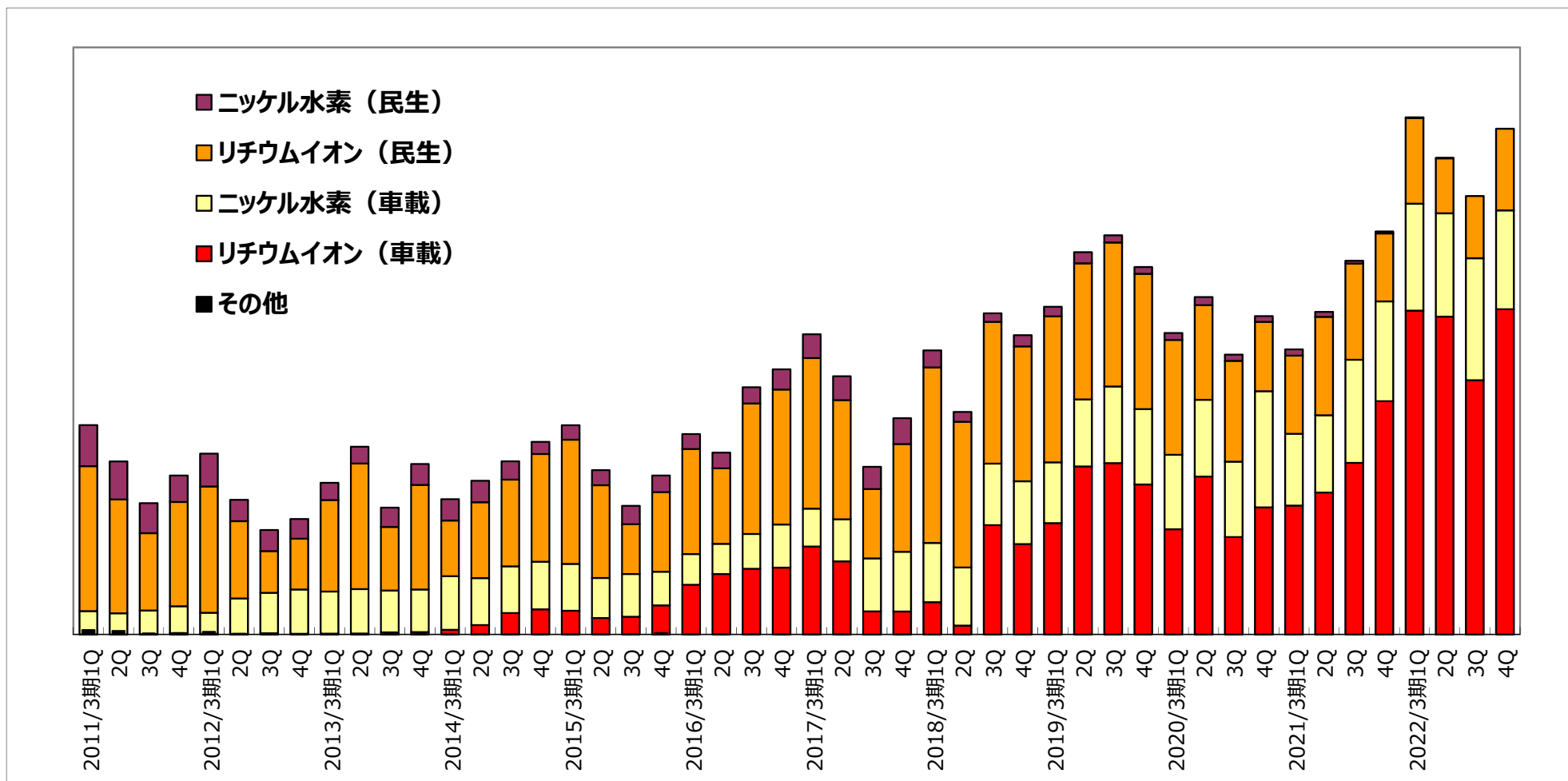
- ・ 2022年3月期における前駆体製造技術のライセンス及び技術支援契約に基づく技術支援料の収益計上はなし

3. 製品別販売数量 前事業年度との差異要因

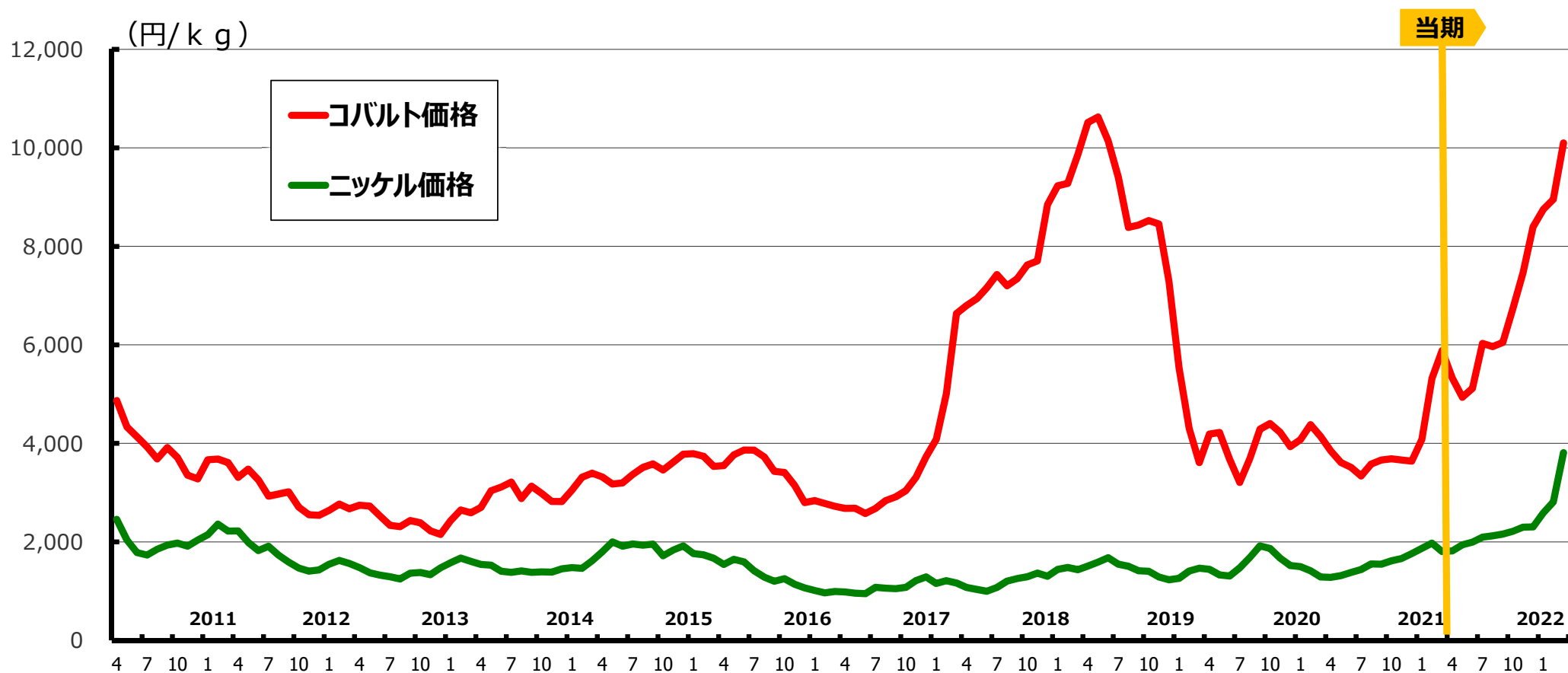
販売量：t		2021/3期	2022/3期	増減	増減率
リチウムイオン	車載	9,212	16,645	+7,433	+80.7%
	民生	4,640	3,875	△765	△16.5%
	計	13,852	20,520	+6,667	+48.1%
ニッケル水素	車載	4,794	5,868	+1,074	+22.4%
	民生	216	14	△201	△93.2%
	計	5,011	5,883	+872	+17.4%
合計		18,863	26,404	+7,540	+40.0%



4. 製品別販売数量Q毎推移



5. 主原料国際価格推移 (円/kgベース)



6. Northvolt (ノースボルト) 社に対する 前駆体製造技術支援契約及び前駆体販売契約締結

● 契約概要（締結日：2019年10月15日）

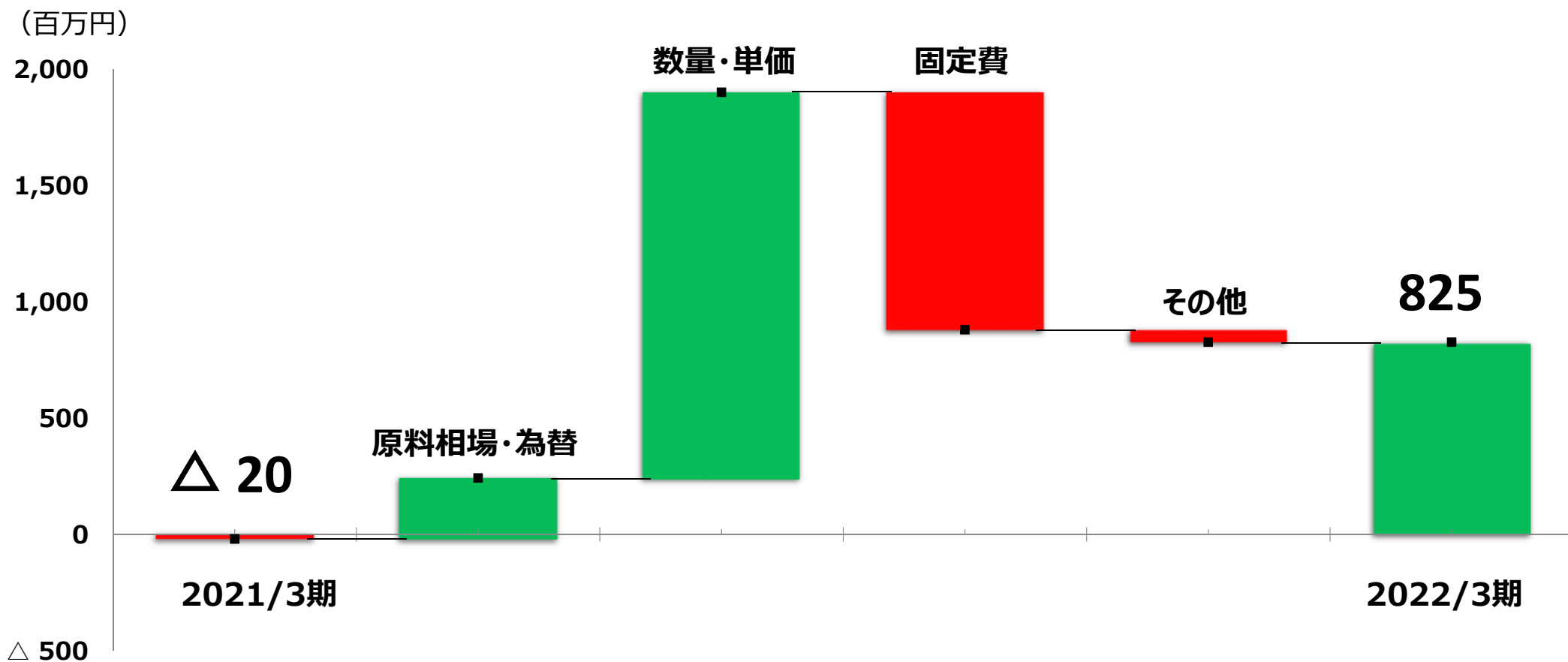
- ・ 前駆体製造技術のライセンス及び技術支援、前駆体販売契約
- ・ 技術支援の進捗状況に応じて、ライセンス / 技術支援料を受領予定
- ・ 2020年8月6日 契約に基づくライセンス及び技術支援の進捗に応じた売上高10億円を、2021年3月期において計上
- ・ 2023年3月期で一部収益計上見込み

● Northvolt 社の概要

Northvolt 社は、車載用途を中心に次世代リチウムイオン電池の量産を目的として設立

- ・ 名称 : Northvolt Ett AB (Stockholm, Sweden)
- ・ 事業内容 : リチウムイオン電池の製造販売
- ・ 大株主 : Northvolt AB
- ・ WEBサイトアドレス : <https://northvolt.com/>

7. 営業利益 前事業年度との差異要因



8. 営業外収支および特別損益

金額：百万円	2021/3期	2022/3期	増減
営業外収支	△ 9	△ 56	△ 46
金融収支	△ 48	△ 74	△ 26
為替差損益	29	21	△ 7
その他	8	△ 2	△ 11
経常利益	△ 30	769	+799
特別損益	△ 7	40	+47
税引前当期純利益	△ 37	809	+847
法人税等	376	77	△ 298
当期純利益	△ 414	731	+1,146

9. 比較貸借対照表

金額：百万円	2021/3期	2022/3期	増減
流動資産	12,960	17,950	+4,989
現預金	2,529	1,303	△ 1,225
売上債権	4,805	8,797	+3,991
棚卸資産	4,612	7,383	+2,770
その他	1,012	466	△ 546
固定資産	20,933	21,067	+133
有形固定資産	20,744	20,862	+118
機械装置他	11,340	13,767	+2,427
土地	1,433	1,433	—
建設仮勘定	7,970	5,661	△ 2,309
無形固定資産	6	6	+0
投資等	183	198	+15
資産合計	33,894	39,018	+5,123

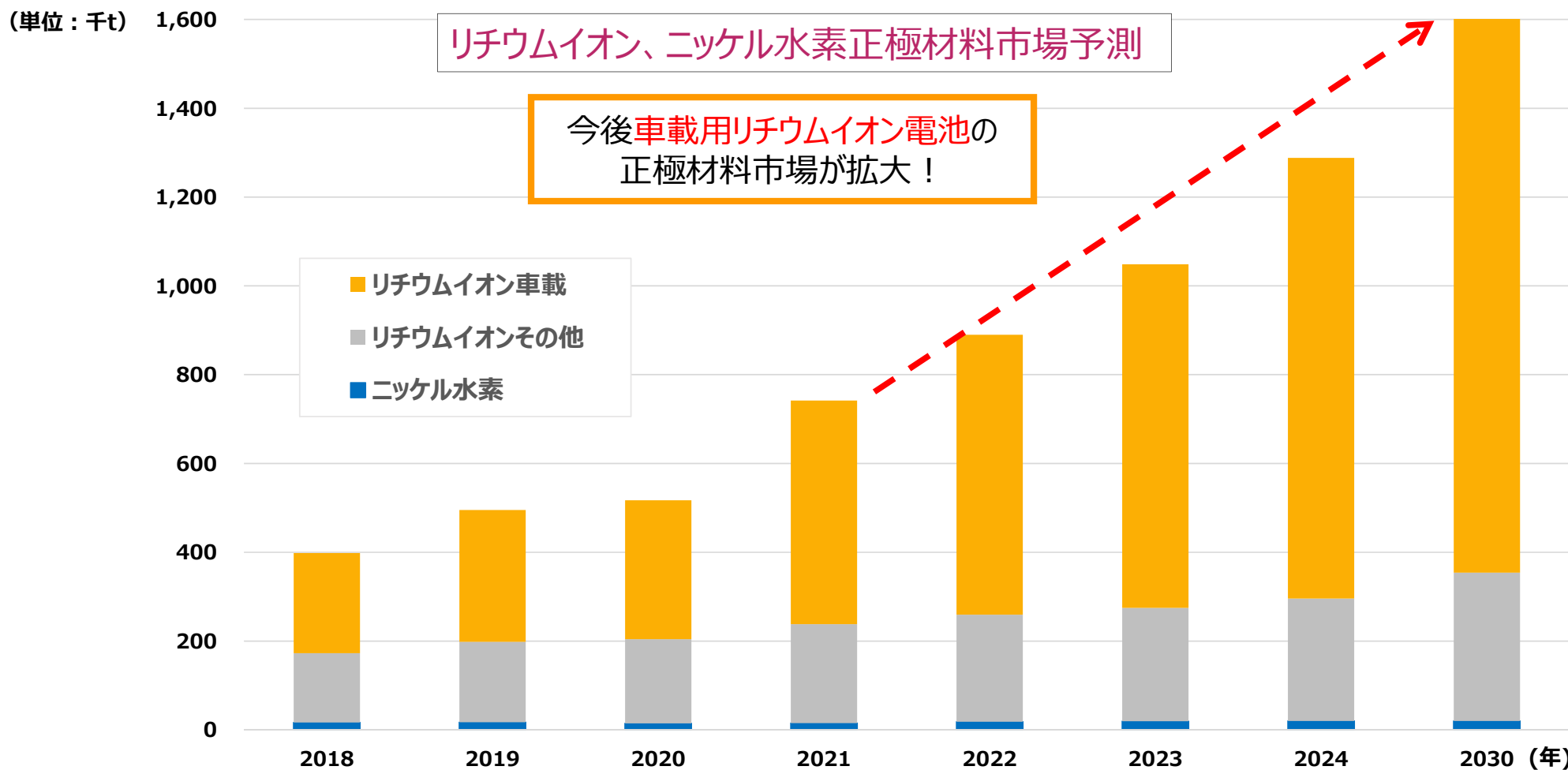
金額：百万円	2021/3期	2022/3期	増減
流動負債	8,837	14,727	+5,889
仕入債務	4,819	8,918	+4,099
借入金	1,500	3,800	+2,300
その他	2,517	2,008	△ 509
固定負債	12,434	10,930	△ 1,504
借入金	12,300	10,800	△ 1,500
その他	134	130	△ 4
負債合計	21,272	25,657	+4,385
資本金	9,155	9,155	—
資本剰余金	6,662	6,662	—
利益剰余金	△ 3,211	△ 2,480	+731
自己株式	△ 2	△ 2	—
その他	18	24	+5
純資産計	12,622	13,360	+737
負債純資産合計	33,894	39,018	+5,123

自己資本比率	37.2%	34.2%	△3.0%
---------------	--------------	--------------	--------------

10. キャッシュ・フロー計算書

金額：百万円	2021/3期	2022/3期	増減
税引前当期純利益	△ 37	809	+847
減価償却費	1,325	1,703	+377
運転資本による資金の増減	117	△ 2,662	△ 2,779
その他	△ 1,495	295	+1,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 90	145	+236
有形固定資産の取得による支出	△ 7,845	△ 2,404	+5,441
その他	77	202	+125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,768	△ 2,201	+5,566
フリー・キャッシュ・フロー	△ 7,858	△ 2,056	+5,802
短期借入金の純増額	—	2,300	+2,300
長期借入れによる収入	9,000	—	△ 9,000
長期借入金の返済による支出	△ 300	△ 1,500	△ 1,200
その他	△ 12	△ 5	+7
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,687	794	△ 7,892
現預金等換算差額	△ 13	35	+48
現預金等増減額	815	△ 1,225	△ 2,041
期末現預金残高	2,529	1,303	△ 1,225

11. 今後の正極材料市場動向



出所：富士経済「2020 電池関連市場実態総調査 下巻：電池材料市場編」による 当社推察

12. 技術開発の方向性

ミドルニッケル
NCM

ハイニッケル
NCA・NCM

コバルトレス
(フリー)化

ニッケルレス化

- 要素技術を製品に適用
- 顧客・用途毎にカスタマイズ
(HV/PHV/EV/全固体...)

要素技術	ターゲット
粒子形態・粒径制御	高エネルギー密度
粒度分布狭幅化	耐久性
空隙付与 一次粒子微細化	高出力化 耐久性
プロセス開発	低コスト化

13. 中期ビジョン

二次電池向け材料市場で 存在感を示す企業



14. 2023年3月期 業績予想

金額：百万円	2022/3期	2023/3期 予想
売上高	40,531	70,000
営業利益	825	△ 600
経常利益	769	△ 700
当期純利益	731	△ 700
設備投資	2,081	1,400
減価償却費	1,703	2,200

※Northvolt 社と締結している前駆体製造技術のライセンス及び技術支援契約に基づく技術支援料の収益計上は2023年3月期で一部見込んでいる。

※新型コロナウイルス感染症の拡大による影響については、現時点では今後の動向が不透明であるため、上記の予想には織り込んでいない。

15. 製品別販売数量予想

販売量：t		2022/3期	2023/3期	増減	増減率
リチウムイオン	車載	16,645	17,700	+1,054	+6.3%
	民生	3,875	3,000	△875	△22.6%
	計	20,520	20,700	+179	+0.9%
ニッケル水素	車載	5,868	7,100	+1,231	+21.0%
	民生	14	—	△14	—
	計	5,883	7,100	+1,216	+20.6%
合計		26,404	27,800	+1,395	+5.3%

付属資料

16. 業績を見る注意点

$$\begin{aligned} \text{売上高} &= \overbrace{(\text{主原料国際価格} + \text{加工単価})}^{\text{販売単価}} \times \text{販売数量} \\ &= (\text{主原料国際価格} \times \text{販売数量}) + (\text{加工単価} \times \text{販売数量}) \end{aligned}$$

//
利益に関係なく増減

//
利益の源泉
(加工収入)

1. 販売単価は、原則として主原料国際価格にスライドする。
従って、売上高は主原料国際価格の変動により利益に関係なく上下する。
2. 利益は「加工単価」と「販売数量」の積である加工収入にリンクしている。
3. 「加工単価」は製品の鮮度、技術的な革新性、工程の複雑さなどによる。

17. 主原料国際価格推移 (\$/LBベース)

